

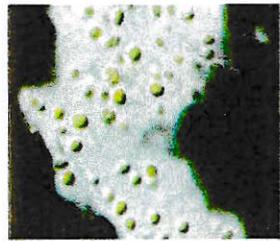
極寒の地で育った微細藻類

コッコミクサの力を...

バロー岬 (アラスカ州)



コッコミクサ藻体



コッコミクサは、アメリカ合衆国アラスカ州のバロー岬で発見された天然微細藻類です。極寒の北極圏でも生息できる強い生命力をもっています。厳しい寒さから身を護るために、多糖類、脂肪酸、アミノ酸、ミネラル成分を多く作り出します。コッコミクサは、免疫を活発にし、酸化を防ぐことが期待されます。

① コッコミクサに含まれる主な栄養素

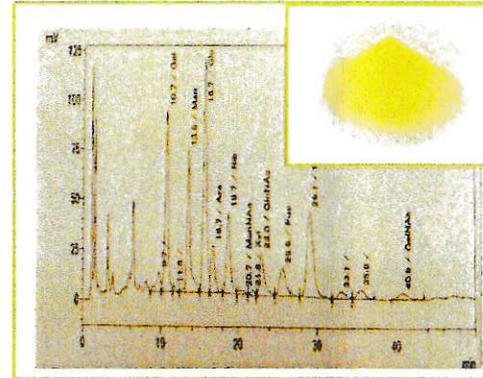
主なアミノ酸

γ-アミノ酪酸, アラニン, グルタミン酸, アルギニン, セリン, バリン, イソロイシン, ロイシン, リジン, プロリン, グリシン, スレオニン, アスパラギン酸, メチオニンなど

主な脂肪酸

オレイン酸, リノール酸, α-リノレン酸, パルミチン酸, パルミトレイン酸, ステアリン酸, γ-リノレン酸, ミリスチン酸, EPA など

② コッコミクサに含まれる多糖体

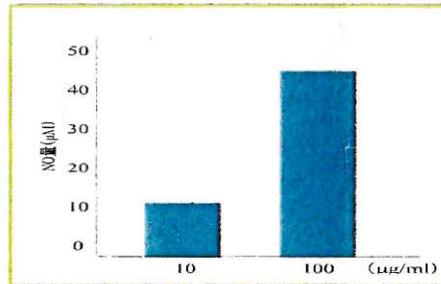


コッコミクサには多糖体を形成する多糖類が含まれます。これらの多糖体の研究では、免疫を活発に働かせ、ウイルスの感染を防御するなどの報告があります。

(名古屋大学・理学部報告)

(愛知医科大学・感染免疫学部報告)

③ コッコミクサ多糖体の主な働きと評価



・NO (一酸化窒素) 産生作用

コッコミクサは、NOを作り出すことで白血球の働きを助け、自然免疫を活発にすることが確認されています。

(岐阜薬科大学・感染制御学教室報告)

・インフルエンザ増殖抑制作用

コッコミクサ多糖類は、7種のインフルエンザウイルスの増殖を防ぐことが確認されています。またノロウイルス増殖抑制作用も明らかです。

(愛知医科大学・感染免疫学教室報告)

